

目次

防災ハザードマップの使い方

STEP 01 災害を知る

地震、洪水、土砂災害を知る！
災害時にとるべき行動を知る！



地震	1~6
洪水	7~12
土砂災害	13~14
避難	15~16

STEP 02 避難を考える

自宅や職場の危険性を確認する！
避難経路を考える！



ハザードマップの見方	17~18
重ね合わせマップ	19~62
個別河川マップ	63~82
浸水実績マップ	83~86

STEP 03 災害に備える

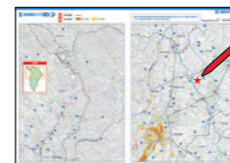
日頃から災害に備える！



指定緊急避難場所・指定避難所	87~88
マイ・タイムライン	89~90
避難所での過ごし方	91~92
災害に備えた対策	93~94
情報収集	95~96
自助・共助・公助	97~98
非常時持出品・備蓄品	99~100

01 家の位置を確認しましょう

あなたの家の場所を
防災ハザードマップ
に書き込みましょう。



02 家の周りの災害の危険性を 確認しましょう

あなたの家の周りでは、どのくらいの
震度が想定されていますか？
浸水が想定されて
いる区域ですか？
土砂災害の警戒が
必要な区域ですか？



03 避難先を確認しましょう

安全にたどり着ける避難先を
複数箇所確認しましょう。



04 避難経路を考えてみましょう

災害の危険性のある
場所や狭い道路を避
け、安全な避難経路
を複数のルートで確
認しましょう。



05 実際に避難先まで 歩いてみましょう

地図で選択した避難
経路が安全かどう
か、その他の避難経
路についても確認し
ましょう。



06 災害や避難について、 話し合ってみましょう

あなたの家だけでな
く、家族の職場やよ
く行く場所などに
ついて避難所や危険
性を確認しましょう。



07 マイ・タイムラインを 作ってみましょう

大雨や台風が接近しているときに、自分や家族
が「いつ」「何をするのか」をあらかじめ決めて
おきましょう。

P89~90

防災ハザードマップはあくまでも想定図です。雨の降り方や土地の状態によっては、地図に示された区域以外でも被害が発生することがありますので、十分に注意してください。想定と異なる状況になっても、防災ハザードマップを活用して事前に災害や避難についてイメージすることができれば、いざというときに慌てずに行動することができます。

防災ハザードマップには様々な防災情報を掲載していますので、あらかじめ目を通し、災害に対する日頃の備えとしてください。

栃木市では、「雨が降り続く状況の中で地震が発生した場合」を想定し、避難所設置訓練、救出・救助訓練、災害派遣訓練、体験・展示といった防災訓練を年に1回実施しています。防災ハザードマップを確認の上、いざというときに慌てずに行動できるよう、積極的に参加しましょう。